都留高ニュース

発行所
山梨県立
都留高等学校
大月市
大月２丁目11-20
編集
都留高新聞同好会

未来を決めるのはあなたの一票

平成最後の選挙号

今週28日（金）に生徒会役員選挙が行われる。来年の都留高校をどうしていくのか決める大切な行事だ。立会演説会前に、彼らの公約をよく読んで、自分の意見を持っておこう。

選挙権年齢が、18歳に引き下げられた。ひとりの有権者として、自分の一票に責任を持とう。

今週28日（金）に行われる、生徒会選挙に向けて、候補者の意気込みを取材しました。

皆さんの熱い思いにご注目！

質問は左記の通りです

1，立候補したきっかけ
2，会長、副会長になったら
3，アピールポイント
4，最後に一言

今回の選挙に立候補した７人

（上段右から、福田優香さん、奥脇遙夏さん、丸野由美さん、下段右から、原田和弥さん、志村拓海さん、平井駿之介さん、水越希紀さん）

生徒会長候補

平井駿之介

1、生徒会本部として活動しているうちに、今の生徒会には改善できるところが多くあると感じ、自ら先頭に立って良い方向に変えていきたいと思った。

2、「目安箱」などを通して、全校生徒の声を聞いて、学園祭などの行事の内容を少し変えていきたい。また、その他の意見でも良い物を取り入れていきたい。今、離れてしまっている生徒会本部と生徒の距離を近づけられるように、活発に動いていきます！

3、中学時代にも生徒会長を担当しており、委員長としての経験もあるので、先頭に立って引っ張る力は負けないと思っている。二つの部活動や、勉強にも、どれも手を抜かず取り組んでいるので、生徒会活動にも全力を注げると思う。

4、卒業していくときに、この学校で良かった、楽しかった、と言える都留高校にしたい！みなさんの清き一票をよろしくお願いします！

志村拓海

1、今まで都留高校が長年積み上げてきた伝統や文化をさらにすばらしく輝くものにするために生徒会長に立候補しました。

2、私が生徒会長になったら、年号が新しくなり新たに日本が出発するように、今まで先輩方が作り上げてきた素晴らしい伝統を受け継ぎながら、新たな一歩を踏み出せるような学校にします。今までの都留高校の歴史にさらに大きな足跡を残せるよう、日々努力していこうと思います！

3、チャーミングな垂れ目、ギャップ萌え！

4、今までより一層都留高校が輝かしい学校になるように一緒に新たな一歩を踏み出しましょう！

副会長候補

原田和弥

1、生徒会本部として学校を変えていきたいからです。副会長として、会長、生徒会本部、そして生徒を支えていきたいです。

2、私は、「挨拶」と「生徒と生徒会の距離を近くする」活動をしていきたいと思います。

○挨拶での取り組み・生活委員会との挨拶運動の実施・地域の人々への挨拶を促す活動

○「生徒と生徒会の距離を近くする」取り組み・目安箱の継続実施と積極的に利用することの呼びかけ

・アンケートの実施

3、責任感はどんな人よりも強いです。お願いされたことを責任もってやりきります。

4、副会長としての責任を果たし、都留高校のために精一杯の活動をしていきたいと思います。応援よろしくお願いします。

水越紀希

1、一年生の時から生徒会に入り、様々な生徒会活動を運営してきて、都留高生一人一人がとても輝いている姿が印象的で、みなさんとより質の高い文化を創りたいと思ったからです。

2、何事も楽しみ、一生懸命に取り組むところが都留高生の魅力であると感じます。私はその土台として、日常生活の向上や、一人一人が過ごしやすい学校であることが欠かせないと思います。挨拶や清掃などをより徹底させ、誰もが充実した学校生活を送ることができるようにしたいと考えています。

3、中学校の時から生徒会に入っていたので、生徒会活動を行う上で一生懸命に取り組むことができるようにがんばります。

4、都留高の良さや魅力を最大限に生かすことができるように、文武両道がより良いものになるように、新たなことに挑戦できるように、精一杯頑張りたいと思います。応援よろしくお願いします。

事務局長候補

丸野由美

1、1年間生徒会の活動を通して大変なことや楽しいことをたくさん経験してきて、先輩たちが築き上げてきた伝統をしっかりと引き継いでいきたいと思ったからです。

2、目安箱を活用し、全校の声が届くようにする。

3、私は何事にも余裕を持って行動します。そのため物事を冷静に見ることができて、柔軟に対処することができます。

4、やる気は誰にも負けません！皆さんが都留高生で良かったと思えるような学校にしたいので一生懸命努力をします。よろしくお願いします。

奥脇遙夏

1、私は1年の4月から生徒会事務局員で、先輩が仕事をしている姿を見てかっこいいと思ったことと、学校やみなさんのために役に立ちたいと思い立候補しました。

2、全校の代表という責任と、事務という仕事を一年生からの経験を活かして、今まで以上に取り組んでいきます！

3、人の意見に流されずに自分の意見をしっかり持ち、伝えることです。

4、一生懸命演説して全校のみんなに思いが伝わるようにがんばりますので、一票お願いします。

財務局長候補

福田優香

1、現在、財務局に所属し、一緒に仕事を経験させていただいています。そのなかで、財務局の役割が生徒会の運営において非常に重要であると感じました。それをとりまとめる財務局長を務めたいと思い立候補しました。

2、財務局の仕事は、正確さ、丁寧さが必要不可欠です。一つ一つの仕事を、正確に、丁寧にこなし、生徒会の運営が円滑に行われるよう、貢献したいと思います。

3、これまでの生徒会活動を通して、自ら仕事を見つけて行動していく、主体性が身についてきたと思います。それを生かして都留高校の生徒会活動がより活発になるよう、生徒会の一員として努めていきます。

4、生徒会内、また、学校全体から信頼される財務局長になれるよう一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。

忙しい中熱いコメントをありがとうございました。立会演説会張って下さい！

都留高部紹介

放送部編

先月の人数少ない部活特集を見て、名乗りをあげてくれた放送部なんと部員は、１年女子ふたりだけ！？早速取材に行ってきました。

記者（以下、記）「活動内容を教えてください」

放送部（以下、放）「月曜と金曜の週二回、活動しています。発声練習が主な活動で、大会に向けて練習します」

記「入部のきっかけは何ですか」

放「もともと、人前で話すのが苦手だったので、人前で話すことに慣れたくて。大会などの経験で場慣れできるかと思って入部しました」

「しゃべったり話したりするのが好きなので、入りました」

記「放送部に入ってよかったことはありますか」

記「普段から発声練習や、滑舌がよくなる練習をしているので、早口言葉は得意です。うまく言えたときは、ドヤって感じです(笑)」

記「言うのが難しい言葉は、例えばどんなものがありますか」

放「この間やった、ういろううい？ういろううり？

…というのが難しかったです」

記「ういろううい…聞いたことないですね、調　べてみます」

（「ういろう売り」でした！難しいです！）

記「放送部の方々の特徴を教えて下さい」

放「暇があると、滑舌をよくする練習をします。“らならならな”…みたいな(笑)」

記「芸文祭はでは何をしますか」

放「アナウンスと朗読をやります。

あと、オーディオピクチャーやビデオメッセージとかもやります」

記「オーディオピクチャー？」

放「スライドショーみたいなものです」

記「使う写真も放送部が撮るんですか」

放「はい。写真だけじゃなくて、アナウンスの原稿を書いたり、インタビューをしたりもします。インタビューは緊張しました！」

記「いっぱいやることがあるんですね！２人だけだと大変じゃないですか」

放「人数が足りないときはお手伝いを呼んで活動してます」

「放送部は、定期演奏会のお手伝いもしますが、お手伝いをするのにお手伝いを呼んでいるような状況で…大変です」

記「滑舌よくしゃべるコツや、緊張したときの声の出し方を教えて下さい」

放「やっぱり、日々の練習です。緊張したときは、お腹に力を入れて出すのがいいと思います。大会ではお腹に手を添えて発声してる人もいました」

記「これからやってみたいことはありますか」

放「ドラマＣＤとか、やってみたいです」

記「最後に一言お願いします」

放「週二回楽しく活動しています、ぜひ来て下さい！」

かわいい放送部員ふたりに、癒やされました。職員室の隣では、少ない人数ながら頑張る姿がありました！

ご協力ありがとうございました！

興味のある方は、職員室飯島先生まで。

地元愛大切に…

～大月仕事人インタビュー～

先日、大月市を拠点に美容関係のお仕事や子育て支援サークルを主催する藤井真弓（ふじいまゆみ）さんにインタビューをしてきました。私たちが大切にしたいことをたくさん教えていただいたので紹介します。

藤井さんと私たち新聞同好会
外部の人へのインタビューは初めてで緊張しました！

Q1、お仕事の内容を教えて下さい

A1、ビューティーコンサルタントとして大月や東京で整体やネイル、ヘアメイクなど美容を中心としたお店を経営しています。また一般社団法人メリーの会の常任理事として子育て中のお母さんや子供たちの支援やボランティア活動を行っています。

Q2、メリーの会での具体的な活動を教えて下さい。

A2、お母さん向けの料理教室を開いたのが始まりです。今は、夏休みには学習支援、冬には障がい者支援施設との交流などを行っています。

Q3、大月を拠点にされていますが大月にある可能性を教えて下さい。

A3、私「大月大好き」です。誇りを持っています。東京へだって寝ていればすぐ着いてしまう距離にあるのに出て行ってしまうのはもったいないと思います。

「何もない」と言う人もいるけれど、都会の小さい空間より住みやすいです。自分の「ふるさと」なのだからもっと愛して周りに発信してほしいです。

Q4、高校生の頃はどんな学生でしたか？

A4、硬式テニス部とサーフィン部に入っていました。他にも、生け花を習いに行ったり、通信教育で美容の資格を取ったりしました。進学校だったのでとても忙しかったですが、充実していましたね。高校時代が一番楽しかったかな。

Q5、若者へメッセージをお願いします

A5、子供時代に経験したことはすべて後に役に立ちます。自分がやってみたいと思ったことは躊躇せずにやって下さい。苦しいことを経験することもありますが絶対に夢は諦めないでほしいです。

どんなことでもまずチャレンジする精神を見習っていこうと思いました。また、地元愛の大切さも教えていただきました。

ご自身の経験をたくさん話していただいた藤井さん、ありがとうございました。

10月６日にメリーの会主催のイベントがあります。興味のある方は参加してみて下さい

完全版は、なんと**大月市の広報11月号**に掲載される予定です！そちらもチェックして下さいね！

自学進取

◇夏休みの一年次生地歴科の課題として小論文の提出を課した。今日的社会を取り巻く興味ある問題からと選択させた中で、その多くはＡＩにまつわるものであった。そしてその論調の多くは感情のないＡＩに任しておいていいのかと危惧するものだった。一方で、感情のある『人間』に善悪の判断を任しておいてよいのかと思う事件も多い。◇そもそも人間の感情の善悪とは一体何で決まるのだろうか。最近出版された斉藤哲也『試験に出る哲学「センター試験」で西洋思想に入門する』（ＮＨＫ出版）で哲学を復習してみた。古の時代より「いかに生きるのか」は人類の大きな悩みであったことは先人の哲学者の生き方をみて思う。プラトンがこう言い、アリストテレスはこう言う。ベーコンがああ言えばデカルトがこう言う。様々な考えにうなずくものも多い。◇やがてこうした思想もインプットしたＡＩが人類をよりよくコントロールする時代がくるかもしれない。ドラマ『絶対零度～未然犯罪潜入捜査』ではそうした人間をコンピューターが未然に防ごうとするものだった。岡本裕一朗『人工知能に哲学を教えたら』（ＳＢ新書）。こんなタイトルの本も出版されている。

広告・取材は新聞同好会（木内）まで
希望の方は